

6月28日(木)18:00～ 国際ホテルにて

新旧役員交歓会が行われました!



■新旧三役の皆さん



■バイオリニスト
伝田 正英様



■New Lion 誕生

仙台エコーライオンズクラブ 役員・委員会 (2012.7～2013.6)

会 長	阿 部 邦 彦	ライオンテーマ	北 川 英 之
前 会 長	伊 藤 長 作	副テーマ	佐 藤 裕 司
第一副会長	藤 堂 寿 光	テールツイスタ	佐 々 木 貞 夫
第二副会長	村 田 寿 和	副テールツイスタ	金 野 伸 介
幹 事	菅 原 博	一年理事	安 道 光 二
副 幹 事	佐 藤 恵 一 郎	二年理事	千 葉 文 男
会 計	大 沼 毅 彦	監査委員	林 昭 兵
副 会 計	菅 野 徳 彦		嶋 原 信 行
			熱 海 晴 義

運営・事業委員会

【統括 第一副会長 L.藤堂寿光】

運 営 委 員 会	名 称	委 員 長	副 委 員 長	委 員	理 事
財 務 ・ 事 務 局 運 営 委 員 会		保 坂 浩 一	西 村 一 男		安 道 光 二
出 席 ・ 会 員 ・ 会 則 及 付 則 委 員 会		錦 戸 光 一 郎	佐 々 木 金 治		
計 画 委 員 会		菊 地 三 郎	大 久 晃 功	阿 部 善 信	林 昭 兵
PR情報・指導力大会及接待委員会		繁 泉 勝 弘	狭 川 淳	黒 澤 武 彦	千 葉 文 男

【統括 第二副会長 L.村田寿和】

事 業 委 員 会	名 称	委 員 長	副 委 員 長	委 員	理 事
ライオンズクエスト市民青少年・社会福祉・アイヘルズ委員会		伊 藤 孝	鈴 木 秋 男	阿 部 和 敏	
YE国際サービス委員会		熊 谷 隆 夫	佐 藤 秀 彦	渡 辺 充 泰	嶋 原 信 行

※ 新入会員の皆様は後の理事会で所属委員会が確定いたします。

編集後記

いよいよ仙台エコーCN50の年です。そして50周年の会長は、チャーターメンバーである、阿部L!!このようなクラブに所属できることに、大変な誇りを感じるのは私だけでないでしょう。とにもかくにも、林実行委員長、阿部会長のもと、エコーメンバーの絶妙なるチームワークで、CN50を盛大に成功させましょう。

本号までL.金野が編集を担当させていただきました。次号より新PR情報委員会のL.繁泉委員長、L.狭川副委員長にバトナタッチいたします。稚拙な編集に長い間お付き合いいただき誠にありがとうございました。

PR情報委員長 L.金野 伸介



幸せな未来求めて! We Serve

新年度号

平成24年7月26日発行 第151号 仙台エコーライオンズクラブ情報委員会

編集責任者／金野伸介



332-C地区ガバナースローガン

普遍の奉仕

332-C地区アクティビティスローガン

アクティビティ新時代、甦る、ふ・る・さ・と

332複合地区アクティビティスローガン

愛深く 復興信じて We Serve

国際協会モットー

We Serve

国際会長キーワード

IN A WORLD OF SERVICE ~ 奉仕の世界

阿部内閣、始動!

新会長 L.阿部 邦彦
新幹事 L.菅原 博
新会計 L.大沼 毅彦



「会長就任の挨拶」

新会長 L.阿部 邦彦

一九六二年五月十六日、日本銀行の筋向にあった「精養軒」で、平均年齢三十七歳、三十七名のメンバーが勢揃い、ライオンズクラブでの制帽をかぶり、いささかの緊張感の漂う中、結成式を挙げた光景が、つい、昨日の出来事のように目に浮かんでくる。

エコーライオンズクラブの基本理念「知性を高め」。誰もが「足駄を履かずに行動しよう」を合言葉に、多くの素晴らしい先輩、友人との出会いと別れを繰り返しての半世紀。

創立五十周年を迎える節目の年に、はからずも会長職を担う事になったのも、これ迄、お世話になった多くの人々への恩返しと、ここで「きちんとけじめをつけなさい」と言う、天の声があったからではないかと感じる。

林 昭兵CN五十周年記念大会実行委員長と共に、栄光ある歴史を振り返り、全会員、心を一つにして、式典、記念事業を稔りあるものにし、「仙台エコーライオンズクラブ」新時代、創造へ向かっての第一歩としようではありませんか。



「幹事就任の挨拶」

新幹事 L.菅原 博

この度、チャーターメンバーのL阿部邦彦会長の下、幹事を務めさせて頂く事になりました。多くの優秀な先輩ライオンのいる中で2度目の幹事を拝命し改めて身の引き締まる思いで居ります。

今年度は、最大イベントであります創立50周年の年でもあり、記念式典の段取り等で、いつもの年以上に物心両面でご協力頂くようになるかと思っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

1度目の幹事は丁度5年前。CN45周年の時でした。あの時抱いた幹事としての反省点も多々あったはず!が、思い出せず・・

基本に戻るとすれば、まずは例会です。低迷しがちな出席率を少しでも上げることができるよう、充実した例会・楽しい例会、を頭に置き力を注いでいきます。

チャーターナイト50周年は、半世紀を祝う大きな節目になることは言うまでもありませんが、記念事業アクトをエコー会員全員の心のこもった濃い内容のものに出来ればと考えております。

このL阿部邦彦丸の出航に会計の大沼毅彦Lとともに予備燃料を沢山積み込み、出発したいと思えます。突然のゲリラ豪雨にも溺れることなく帆の軌道修正をマメに行いながら、無事目的地にゴール出来るよう頑張って参ります。

諸先輩方、お手柔らかにどうぞ宜しくお願いいたします。



「会計就任の挨拶」

新会計 L.大沼 毅彦

この度、仙台エコーライオンズクラブの会計を拝命いたしました大沼毅彦です。

本年はチャーターナイト50周年の年でございます。結成された1962年は私が誕生した年であり、自分自身にとっても節目の年であります。阿部会長・菅原幹事をしっかりサポートし、歴史ある仙台エコーライオンズクラブの節目に相応しい年に出来る様精一杯勤めてまいりたいと存じます。何分未熟者でございますので、皆様方のご指導、ご鞭撻の程よろしく願い申し上げます。

謹んでご冥福を お祈り申し上げます。



2012年6月10日
ご逝去

1964年3月
仙台エコーLC 入会

1991年7月～
1992年6月
仙台エコーLC 会長

故 L. 宇野聡男

弔 辞 L 林 昭兵

いま ここに、私どもの偉大なる人生の師匠であり、ライオンズクラブの心の拠り所であった宇野先生に、永遠(とわ)のお別れの言葉をささげますことは、誠に痛恨のきわみであります。宇野先生の遺影を前にいたしますと、在りし日の宇野先生のあたたかな笑顔やあの悠然としたお姿が目には浮かび、脳裏を駆け巡ります。

最後に先生とお逢いしたのは、去る二月二十六日の日曜日でした。先生のご自宅で奥様と三人で昼食を頂きながら、ゆったりと三時間にわたり教えを頂きました。これからの未来について語られる先生のご様子は、顔色も良く、徐々に元気に回復されているなあとは私は大いに安心いたしました。

突然の訃報に接し、いまでも信じられずにおります。「オーっ!」とお逢いできる気がしてなりません。もっと教えを頂いておけばよかったと悔恨の念にかられます。素晴らしい先輩の方々がいらっしやる中で、私がこの場に立ち、先生に弔辞を述べさせていただくことは、大変僭越ではございますが、万感の思いを込めて述べさせていただきます。

先生の事業に於ける業績に関しましては、勲三等瑞宝章を叙勲されたことから推察されますように、その地位と実績は充分にご承知のことと存じます。本日は、私が感じていた「人間 宇野聡男」の一面をお話させていただきます。

宇野先生、振り返れば初めてお逢いしてからもう三十数年になります。まずもって、先生から受けた数々のご講義に感謝申し上げます。仙台エコーライオンズクラブは、大井さん、相沢さん、江馬さん、田中さん佐藤さんをはじめ地元名士の集まりでありました。先生はそういった素晴らしい方々からも、その知性と寛容さで一目置かれていました。そんな中で三十年前、私は仙台エコーライオンズクラブに入会させていただきました。私は、自分のようなものがこのように素晴らしい方々とご一緒にいいものかと考えたものです。しかしながら、先生は暖かく私に接してくださいました。先生は本当に優しい方です。そしてシャイな方です。私は、先生が怒りをあらわにしたことなど一度も見ただけです。また、叙勲をされるような立派な弁護士であるにもかかわらず、そういう風な素振りは一切見せず、いつもあたたかく接してくださいました。先生は私にとって父のようなものであり、兄のようでもありました。その存在は、愛に満ち溢れており、無言で様々な事を教えて下さいました。その都度、その立ち位置を変えられ、程よいプレッシャーで、良い味加減にしあげ、私たちを世に送り出してくれていたんだと思っております。

また、宇野先生はよく「人生を倍楽しむ」と口にされ、実践されていらっしやいました。趣味は多岐にわたり、音楽・ゴルフ・麻雀など様々なことをたしなんでいらっしやいました。特にヴァイオリンの演奏は素晴らしく、奥様のピアノとの協奏は、先生と奥様の暖かさで調和が醸し出された本当に素晴らしいものでした。プラザホテルでの先生のリサイタルは私の大切な思い出です。文化人としての先生の一面を目の当たりにし、驚きと感動の素敵な夜となりました。

ゴルフでは、構えてから打つまでの時間が非常に長く、一緒に回るメンバーをイライラさせる戦法でした。そういう中で、先生が見事にホールインワンを達成された事は、実力と戦法のなせる結果だと思います。

最後に、未だ忘れられない事があります。ある年の年次大会の前日、鳴子ホテルで開催された「エコーの夕べ」の終了後に行った麻雀大会でのことです。先生は「九連宝燈」という大役満で上がられました。私はホールインワン何度か目にした事はありますが、この大役満は、この時が最初で最後で、まだ目にした事はありません。やはり先生はただ者じゃない、凄い才能と強運を兼ね備えた何かを持っている人物なんだという思いが強くなり、益々先生の教えを熱心に求めるようになったものです。「幸福とは満足にあり、満足とは人の心の問題であるから気の持ちようで人間とはどうにでもなるものだと思う。満足の中にも進歩を求めて日々を過ごしていこうじゃないか」

この先生の言葉が忘れられません。先生の類いまれなる才能と老若男女問わず多くの人々の信望を集めたお人柄は、きっとこの考えによるものだと思います。いまこうして先生と過ごした時間を振り返ってみると、本当にかげがえのない素晴らしい時間だったと改めて感じております。

先生、本当に長い間ありがとうございました。私たちの心の中にはいつでも先生は生きていらっしやいます。私たちは先生の意思を引き継ぎ、ライオン精神でより一層社会に奉仕して参ります。

最後に、ご遺族の皆様、そして奥様に於かれましては、その胸中を推察するにあまりあります。私の胸は締めつけられる思いです。宇野先生、天国より皆様を温かくお見守りください。

宇野先生、どうか安らかに眠ってください。 合掌。

林 昭兵

一年間お疲れさまでした。

前会長 L.伊藤 長 作
前幹事 L.北川 英之
前会計 L.伊藤 孝



「一年間を振り返って」

前会長 L.伊藤 長 作

○はじめに

2011年7月1日、小生は歴史と伝統のある仙台エコーライオンズクラブ50代目の会長に推挙され、この一年間幹事北川英之L、会計伊藤孝Lの支えの下に各委員会の役員方々、そして、全ての会員の皆様の力強いご支援とご協力を賜り、会長職に専念でき一定の足跡を残すことが出来ました。この事に対しまして、本誌をお借りして衷心よりお礼申し上げる次第であります。

さて、一年前会長就任に当たり、若干の抱負について決意表明致しました。この中で「会員の維持・増強」、「50周年記念行事」そして「アクトの推進」の3点について若干の考察を加え「回顧」をさせていただきます。

○考察

第1の「会員の維持・増強」であります。この課題は組織活動の基盤を成すものであると捉え、精力的に取り組んだ結果、佐々木金治L、繁泉勝弘L、そして7月入会予定の佐藤賢三Lの3名の方々に仲間に入ってもらった事が出来ました。今後とも当クラブの更なる発展のため、会員の維持増強活動に邁進していく所存であります。

第2の「50周年記念行事」についてであります。50周年記念式典は、来る4月13日(土)に確定しておりますが、50年は当クラブが半世紀を迎える大きな節目であります。これが成功裡に導くためしっかりと「汗をかく所存」でありますので、どうぞ宜しくご指導ください。

第3のアクトの推進であります。既存アクトは計画通り推進されてきたものと考えています。今後は新規アクトの導入について、仙台エコーに相応しいアクトの発展に全力を傾注して参る所存であります。

○終わりに

以上3点について若干の考察を加えましたが、ライオン歴が浅く、かつ未熟・無能な小生に会長と言う重責を与えて頂いた事に対しまして、心より感謝を申し上げます。また、当面「50周年記念行事」が当クラブ最大の懸案事項でありますのでクラブ員全力の力を結集して「どこのクラブよりも立派な50周年記念行事」を目指して奮闘して参る所存であります。

この一年間本当にありがとうございました。会員皆様のご家族のご健勝・ご多幸を心よりご祈念申し上げます。



「一年間を振り返って」

前幹事 L.北川 英之

学びの一年。皆様のご協力を頂いて無事一年を終えることができ、誠にありがとうございました。行き届かない点も多数あったかと思いますが、私自身一年間を通して大変多くのことを勉強させて頂きました。クラブ運営の形式、段取りの仕方、事前準備の重要性等基礎的なことを勉強し直す大変良い経験となりました。今年度は大久ZCPの擁立クラブであったことや、CN50周年の準備開始、更には林Lが第一副地区ガバナーに選出される等、盛沢山な一年だったかと思います。伊藤会長、伊藤会計始めクラブの皆様、また森事務局員にも大変助けて頂きました。来年につながる一年になっていれば幸いに思う所存です。

一年間誠に有難うございました。



「一年間を振り返って」

前会計 L.伊藤 孝

一年間大変お世話になりました。

初めての三役を務めさせて頂きましたが、今年度の会計全般について、収入、支出ともに当初予算どおり出来ましたことをまずもって会員皆様のご協力があったの事と思い感謝申し上げます。

東日本大震災後の一年ではありましたが、幸い仙台エコーにとっては会員皆様のご協力もあり経済的には問題ありませんでした。今期のイベントの中では、姉妹クラブ交流会・お月見例会の際は準備不足もあり会計に不足が生じ、皆様にご迷惑をかける結果となり申し訳ありませんでした。

来年4月に予定されていますチャーターナイト50周年記念事業の資金として定期預金と今期後半から会員皆様の積み立てを開始した資金がございます。また3会計(運営費、事業費、会食費)

の余剰金を加え、更なる会員の積み立てを加えることにより来期の記念事業は資金的には問題なく出来ると安堵しています。

私事ですが2012年4月より本業で役職が加わり、第4木曜日の理事会・例会に出席できなくなり、会長、幹事、森さんに支えていただきました。一年間本当にありがとうございました。



「仙台エコーライオンズクラブ

CN50周年記念実行委員長就任にあたって」

50周年実行委員長 L. 林 昭 兵

今から30年前の「仙台エコーライオンズクラブ CN 20周年」は、大変素晴らしい20周年でした。昨日の事のように思い出されます。周囲から「仙台エコーさん」と「さん」づけで呼ばれるような名門のライオンズクラブに、私が入会させていただいたのがこの時でした。あれから30年、仙台エコーライオンズクラブを通じて、たくさんのお出逢いを頂きました。仙台を代表する諸先輩からの薫陶を受け、今の自分があります。おかげさまで、家族、事業ともに健やかに成長しているようです。これもひとえに仙台エコーライオンズクラブのおかげと、万感の思いであります。

このたび、50周年の実行委員長というとても大きなお役目を頂きました。私のようなものに、この大きなお役目が務まるのかと大変恐縮している次第ではございますが、お役目を頂いた以上、これまでの感謝の気持ちを込め、やる気を持って全力で取り組ませて頂きたいと思っております。皆様、何卒よろしくお願い申し上げます。

50周年という大きな節目を迎えた今期、チャーターメンバーである阿部Lに、二度目の会長職に就任していただく事ができました。これは、大変喜ばしい事と思います。この数年、大先輩であるチャーターメンバーの方々をはじめ、仙台エコーの創成期を彩り、名門仙台エコーを創り上げた多くの素晴らしい諸先輩が黄泉の国に旅立たれました。この諸先輩方の「思い」を十分にご理解なさる阿部ライオンが、この50周年という大きな節目に、会長をお務めになる事は、50周年の実行委員長として本当に素晴らしい事と考えております。

仙台エコーライオンズクラブ50周年は、この偉大なる諸先輩方の「思い」をなんとか形にし、そして次世代に継承し、仙台エコーのライオンたちが誇りを持って100周年に向かっていくための新たなるスタートになればということが、諸先輩方の強い「思い」と感じる次第です。

この50周年を素晴らしいものにするためには、皆様お一人お一人のお力が不可欠です。副実行委員長の安道L、佐々木Lの両君。総務委員長金野L。式典・祝宴委員長保坂L。記念事業委員長鈴木L。記念誌委員長狭川L。姉妹クラブ委員長熊谷L。このようにチャーターメンバーである阿部Lが会長となり、幹事の菅原L、会計の大沼Lという素晴らしい三役を迎え、次世代を担う若きライオン達が委員会の要所を固めております。仙台エコーの総力を結集し、素晴らしい50周年にしましょう。この50周年の盛り上がり「ライオンズの誓い」の真の実践として一つの形となるはずです。民間交流を通じて、世界平和の一助となる50周年になるはずです。皆様お一人お一人のお力を心からお願い申し上げます。そして、50周年の大成功をお誓い申し上げます。ありがとうございます。

本年度 主要行事予定

9月12日(水)	ガバナー公式訪問 江陽グランドホテル
10月 8日(月)	野草園 どんぐり工作教室
10月25日(木)	お月見例会 ホテルモンテレ仙台
11月25日(日)	野草園 植物感謝祭 落葉焚き
12月22日(土)～	ACTミニバスケット大会 24日まで
12月23日(木)	クリスマス例会(同伴) 仙台国際ホテル
4月13日(土)	CN50中年記念大会 仙台国際ホテル
5月11日(土)	第59回地区年次大会 蔵王
7月5日(金)～	第96回国際大会 ドイツハンブルグ 9日まで